

ヒルガオ科 サツマイモ属

アメリカアサガオ (アメリカ朝顔)

Ipomoea hederacea Jacq.

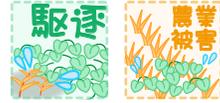
自生環境

道ばた、畑地、荒れ地 など

原産地

熱帯アメリカ

予想される被害



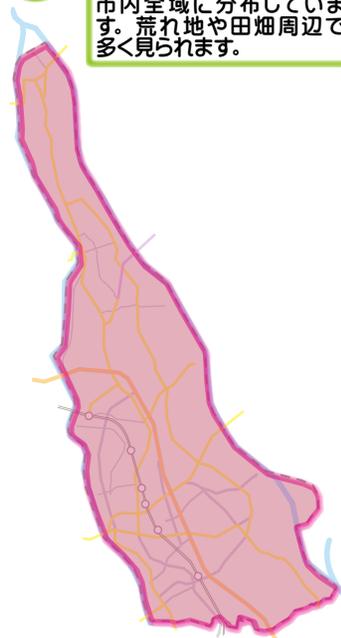
「雑草化したアサガオ」のひとつです。タネでよく増え、畑や野原を覆う勢いでつるを旺盛に伸ばします。そのため、増えすぎると地域の生態系に影響が出る可能性があります。

特徴

- ☆ 国内で雑草化してはびこるようになったのは戦後の話です。おそらく輸入穀物の中に種子が混じていたのがきっかけと考えられています。市内でもいたるところに定着しています。
- ☆ 江戸時代の終わりごろには花を楽しむ園芸植物として渡来したことがありました。夏から秋にかけて直径3cmくらいの小さな朝顔のような花を咲かせます。花色には多少の個体差がありますが、多くは水色です。花は朝のうちでしぼみ、しぼんだ後は赤紫色になります。花期が長く、霜の降りる直前まで咲き続けることも珍しくありません。
- ☆ アメリカアサガオの葉のかたちは変化が大きいのですが、典型的なものでは5つに切れ込んでセイヨウキツタ (アイビー) のような雰囲気があります。そのことから英語で Ivy-leaved morningglory と言います。

市内の分布状況

市内全域に分布しています。荒れ地や田畑周辺で多く見られます。



マルバアメリカアサガオ

アメリカアサガオは葉のかたちの変化が大きく、典型では3~5つに切れ込みます。中には葉の切れ込みが無く丸っこいハート形になる株があり、マルバアメリカアサガオという変種に区別されています。ただ実際に観察していると、丸っこいハート形の葉と、切れ込みのある葉が、同じ株の中に混じることも珍しくありません。そのためマルバアメリカアサガオは変種として区別できないかもしれません。



夏から秋にかけて直径3cmくらいの水色の花をつける

がくの先が反り返る

がくの根元に茶色く長い毛がびっしり生える



果実のがくの内側に見える

果実期のがくはさらに強くなるんと反り返る



葉は3つまたは5つに切れ込む



葉に切れ込みが無く、ハート形になったもの

変種

マルバアメリカアサガオ



わぴちゃんねる 千葉県野田市の植物を動画で紹介!

<https://www.youtube.com/channel/UCJvrXBjegnWATWd-UZsNzCA>

